

ロンドンオリンピック

いよいよ、4年に1度のオリンピックが始まりました。

27日に行われた開会式は、華やかで、躍動感があって、素晴らしかったですね。「人間の尊厳保持に重きを置く、平和な社会を推進する」という「オリンピックの根本原則」を彷彿とさせる演出でした。

今回の大会では世界の204の国と地域から1万人を超える選手がロンドンに結集しており、8月12日の閉会式まで熱い戦いが繰り広げられることとなりますが、テレビ観戦する私達は寝不足になりそうです。

今回の日本選手団は、男子137名、女子156名、総勢293名という大舞台です。日本が初めてオリンピックに参加したのは今から100年前（1911年）に開催されたストックホルム大会で、その時は短距離とマラソンから2名の選手が派遣されています。結果は、参加することに意義があるという状態でしたが、それが今では、金メダル数が話題になる程、スポーツ界においても日本は先進国の仲間入りをしています。

オリンピックというと、どうしても国を背負って戦うという雰囲気になり、選手の皆さんには相当プレッシャーがかかっていると思いますが、開会式での選手の皆さんの様子を見ると、リラックスして開会式を楽しんでいるという事が伝わってきて、とても良かったなと感じています。

オリンピックというと、私にとっては1964年に開催された東京オリンピックが忘れられません。この大会は、アジア地域で初めて開催されたオリンピックであり、第二次世界大戦で敗戦し焦土と化した日本が、短期日の間に急速に復活を遂げつつあることを、内外にアピールする事になりました。

高校生だった私は、テレビを見ながら、開会式で整然と入場する日本選手団の姿に感激した事を覚えています。

さて、今回の大会では、26の競技が行われますが、金メダルの期待がかかる競技も沢山あり、楽しみです。

既にサッカーの試合が始まっており、男女共に勝ち星スタートしており、更に、重量挙げの三宅選手や柔道の平岡選手も銀メダルを獲得する等、勢いを感じ

じます。是非、この良いムードが他の選手にも伝播して、大いに活躍して欲しいと思います。

「オリンピックは参加することに意義がある」という言葉がありますが、それはただ単に、試合を楽しめば良いといっているのではないはずで、オリンピズムが求めているのは「努力のうちに見出される喜び、よい手本となる教育的価値、社会的責任・・・」であるとオリンピズム憲章は謳っています。

オリンピックは、最高のアスリートたちが、最高の技と力で競うからこそ輝いて見えるのです。

私は、選手の皆さんの、最高のパフォーマンスを期待しながら、応援するつもりです。

また、ロンドンオリンピックに引き続いて、8月29日から9月9日まで、夏季パラリンピックロンドン大会が開催されます。日本からは、35名の選手が参加されますが、いずれも活躍が期待されています。ロンドンオリンピックと同様、パラリンピックの方も皆さんで応援しましょう。(塾頭 吉田 洋一)